

令和2年8月17日

**第21回新型コロナウイルス感染症に係る「青森市危機対策本部」 本部長指示**

青森市内の新型コロナウイルス感染症患者の発生については、7月31日（金）の8例目以降発生していないものの、全国では昨日時点で1,238名の新規陽性者が発生しており先週までのお盆に伴う人の移動の影響が明らかになる約2週間後まで予断を許さないこと及びいわゆる第二波の到来に伴い、市内経済は引き続き厳しい状況が続いていること等を踏まえ、感染拡大防止と社会経済活動の後押しを両立するため、以下について指示します。

- 令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれた新生児に対し、「青森市新生児子育て応援特別給付金」を支給すること。
- 市内経済の回復に向け、市民の生活を応援し市内の消費喚起につなげるため、市民全員分（28万セット）の「青森市プレミアム付商品券」を発行すること。
- 育児・介護等の事情を有する職員の在宅勤務を可能とするため、テレワーク環境を整備すること。
- 保育所や障害者支援施設等が購入する感染症防止用の保健衛生用品等の経費について支援を行うこと。
- 新型コロナウイルス感染症流行下の妊婦の不安解消のため、分娩前にPCR等のウイルス検査を受けられるようにすること。
- 本市への帰省を自粛する学生に向けて、旬の本市産品を送付しエールを送るとともに農林漁業者等の支援につなげる「あおもり産品学生応援プロジェクト」を実施すること。
- 市内60箇所の防災活動拠点施設（小学校、市民センター等）及び19箇所のバックアップ施設（中学校）において、サーモグラフィー、非接触型体温計、消毒液などを配備すること。

- 小学4年生から中学校3年生までの1人1台パソコンについて、9月より順次導入するとともに、プロジェクター、スクリーン、大型モニターなどを整備すること。
- 市民病院・浪岡病院、保健所等において、新型コロナウイルス感染症患者の疑いがある者に対応する職員に対し、慰労金及び防疫等作業手当を支給すること。
- 新型コロナウイルス感染症への対応及び院内感染防止のため、厳しい経営を強いられる市民病院及び浪岡病院について、増嵩する人件費等の追加支援を行うこと。
- 市営バス、市バス及びシャトルルートバス（ねぶたん号）について、運賃支払の際の接触機会を低減するため、新たにキャッシュレス決済を導入すること。

なお、残念ながら青森市内において、関東方面から帰省した方に対し誹謗中傷のビラを投函する事例が発生しました。市民の皆さまにおかれては、その非難の刃が明日にも自らに向きかねないことを強く自覚して、それぞれの事情を思いやり、差別的行為を厳に慎むようお願い申し上げます。